

# 科学技術イノベーション創造推進費（内閣府政策統括官（科学技術・イノベーション担当））

27年度予算額（案） 500億円（26年度予算額 500億円）

総合科学技術・イノベーション会議が科学技術イノベーション政策の司令塔機能を発揮し実施する「戦略的イノベーション創造プログラム」の推進等に  
必要な経費として内閣府に計上する「科学技術イノベーション創造推進費」を平成26年度に創設。**平成27年度も継続的かつ力強く推進。**

## 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP※1）

（概要・目的）

- 総合戦略※2及び日本再興戦略※3に基づき、総合科学技術・イノベーション会議が司令塔機能を発揮し、**府省・分野の枠を超えて基礎研究から出口（実用化・事業化）までも見据えた研究開発を推進**することを通じて、科学技術イノベーションの実現。
- プログラムの実施にあたっては、資源配分方針※4に基づき、**総合科学技術・イノベーション会議が関係府省の取組を俯瞰して推進すべき課題・取組**を特定し、会議が定める方針の下で予算を重点配分（調整費。各省に移し替え等）。
- エネルギー、次世代インフラ、地域資源、健康医療の4分野を特定し、前3分野において府省横断型の重要な10課題を決定※5。

※1 Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program

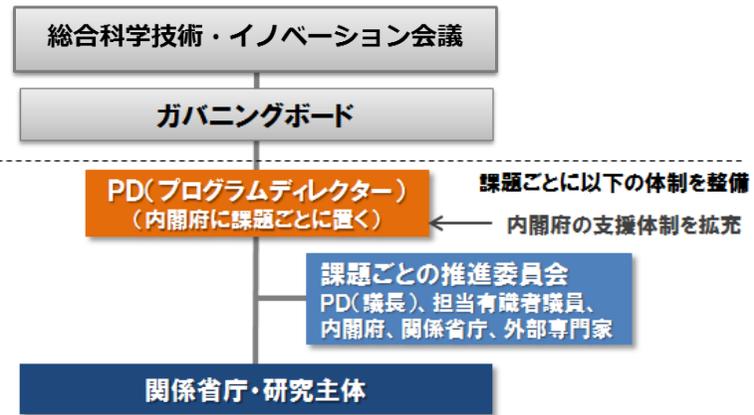
※2 科学技術イノベーション総合戦略2014（平成26年6月24日閣議決定）

※3 「日本再興戦略」改訂2014（平成26年6月24日閣議決定）

※4 平成27年度科学技術に関する予算等の資源配分方針（平成26年7月17日総合科学技術・イノベーション会議決定）

※5 平成26年5月23日総合科学技術・イノベーション会議

## ＜実施体制＞



- **課題ごとにPDを設定**。PDは、研究開発計画、出口戦略等を策定し、中心となって推進。

## 資金の流れ



（注）健康医療分野（上記500億円のうち35%（175億円）を充当見込み）については、健康・医療戦略推進本部が平成26年7月22日に決定した「平成27年度 医療分野の研究開発関連予算等の資源配分方針」等に基づき、同本部の総合的な予算要求配分調整の下で実施する。

## 期待される効果

- 「戦略的イノベーション創造プログラム」により、鍵となる技術の開発等を通じて、社会的課題を解決。我が国産業における**有望な市場を創造、日本経済を再生（持続的経済成長、市場・雇用の創出等）**。